



1-1 文献リストのみかた

参考文献をさがす

論文を作成する時、最初に自分の研究テーマに関連した雑誌論文や図書などを読むことが必要です。それには、論文や図書の章毎や本文の最後に載っている参考文献(引用文献、Reference)を利用して関連した論文や図書を収集するという方法が基本です。ここでは参考文献リストのみかたについて一般的な例を説明します。なお、個々の雑誌毎に参考文献の書き方が決まっていますので記載順、省略方法などに若干の違いがあります。

例1.【雑誌論文－1】論文著者名 (年) 雑誌名 巻号 ページ

<u>Ostrowski, J., Sims, J.E., Sibley, C.H., Valentine, M.A., Dower, S.K., Meier, K.E., and Bomsztyk, K. (1991)</u>			
	論文著者名		年
<u>J. Biol. Chem</u>	<u>266</u>	<u>12722-12733</u>	
雑誌名	巻号	ページ	

雑誌名は略誌名で書かれていることが多い。論文名が省略されているものもある。

例2.【雑誌論文－2】論文著者名 (年) 論文名 雑誌名 巻号 ページ

<u>Su, L.K., Kinzler, K.W., Bogelstein, B., Preisinger, A.C., Moser, A.R., Luong, C., Gould, K.A. and Dove, W.F.</u>			
	論文著者名		
(1992)	<u>Multiple intestinal neoplasia caused by a mutation in the murine homolog of the APC gene.</u>		
年	論文名		
<u>Science</u>	<u>256</u>	<u>668-670</u>	
雑誌名	巻号	ページ	

例3.【雑誌論文－3】論文著者名 (年) 雑誌名 in press.

<u>Teller, D.T., Behnke, C., Palczewsk, K. & Stenkamp, R. (2001) Curr. Top.</u>		
	年	雑誌名
in press.		

in press とは、雑誌に掲載されることは決まっているが、まだ掲載巻号やページが決定していないもの。この場合は、論文著者名で MEDLINE、BA などや該当雑誌のコンテンツで探す。ただし、ごく稀に掲載予定が取り消されることもある。

<よく使用される略語>

'anon.	作者不明の	anonymous の略
diss.	博士論文	Dissertation の略
ib., ibid.	同じところに、同書に	Ibidem の略
id.	同上の、同著者の	Idem の略
op. cit.	前掲書中に	Opere citato の略

例4.【図書】論文著者名 論文名 in 本の著者名、本の書名、出版者、出版地、出版年、(掲載)ページ

<u>R.R. Williams, P.N. Hopkins, S.C. Hunt, M.C. Schumacher, B.M. Stults, L.L. Wu, S.J. Hasstedt,</u>		<u>Inherited susceptibility</u>
	論文著者名	論文名
<u>to metabolic complications of obesity,</u>	in: <u>C. Bouchard(Ed.),</u>	<u>The Genetics of Obesity,</u>
	本の著者名	本の書名
		<u>CRC Press,</u>
		出版者
<u>Bock Raton, FL, 1994,</u>	<u>pp. 147-159.</u>	
出版地	出版年	ページ

例5.【特許】 発明者 特許番号 年

Frank, D. S.; Sundberg, M. W.	U.S. Patent	US4283382,	1981
発明者	アメリカの特許	特許番号	年

特許の場合、雑誌とは異なり、名大の所蔵はないがインターネットでみることもできるものもある。
文献複写・図書貸借が可能な場合あり。

例6.【会議資料】 論文著者名(年) 論文名 Paper presented at 会議名

Miller, J.D. (1992, April).	Science achievement : Differences among urban, suburban, and nonmetropolitan schools.
論文著者名 年	論文名
Paper presented at	the annual meeting of the American Educational Research Association, San Francisco.
	会議名

会議の際に出席者のみに配布されたペーパーなど、公に出版されない場合もある。
入手方法は会議の開催団体への問合せ、インターネット上での公開を探すなど。

例7.【電子文献:Web ページ】 論文著者名(あれば) Webページの名称 URL 参照日付

JST(科学技術振興機構)	“SIST02 参照文献の書き方”
論文著者名	論文名
http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm	(参照 2008-09-24)
URL	参照年月日

Webページは参照日以降に内容が更新されたり、削除されたりすることもあるので注意が必要。

<論文の確認>

探している論文の情報について部分的にしか分からない場合、例えば、採録雑誌、論文名などがわからない時、わかっている範囲の情報から、MEDLINE、BAや、Web of Science などのデータベースで入手に必要な情報を調べたり、電子ジャーナルの検索機能なども使ってみてください。検索してそのまま Abstract や本文が読めることもありますし、関連文献を探すこともできます。

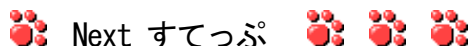
また、略誌名を調べる時、インターネットで確認できるものもあります。

Frontiers in Bioscience <http://www.bioscience.org/atlas/jourabbr/list.htm> (2010.1.13)

Pubmed Journal Browser <http://www.pubmed.gov/?db=journals> (2010.1.13)

<手がかりがつかめない場合>

引用文献について手がかりがない場合は、所属学部・学科の図書室、または附属図書館 参考カウンターへお尋ねください。その際、参考文献が掲載されていた雑誌や図書、あるいは該当部分のコピーをお持ちください。



自分で論文を書く時は、提出する雑誌の投稿規程を確認

雑誌の場合、投稿規程(Instructions to Authors、Guide for Authors 等)で引用文献の書き方が指示されています。

個々の雑誌の投稿規程が一覧できるホームページもあります。例えば、

Instructions to Authors in the Health Sciences <http://mulford.meduohio.edu/instr/> (2010.1.13)

こんな Web ページも参考に

SIST 科学技術情報流通技術基準 <http://sist-jst.jp/> (2010.1.13)

Long Island University Library、Citation Style for Research Papers

<http://www.liunet.edu/cwis/cwp/library/workshop/citation.htm> (2010.1.13)